

中新川郡中教研 研究計画

会長 佐竹 隆太
 会員数 86名

1 本年度研究の基本方針

「生きる力」を育むことをねらいとして、各教科、特別の教科道徳、特別活動等の特質を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、個性を生かし主体的に課題を追究する生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。

主題の解明を図るために、研究主題と研究内容（P）、授業研究と研究発表（D）、学力調査等（S）のトライアングルの関係を重視し、研究を推進する。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一本化に努める。
- (5) 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	12	言葉に対して自覚的に思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の能力を高めていくための指導はどうあればよいか。 -言葉についての課題解決を主体的・対話的に行う授業づくり-
2	社 会	10	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。 -思考力・判断力・表現力を育てるための教材開発はどうあればよいか-
3	数 学	15	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、深い学びを実現するための指導はどうあればよいか。 -数と式領域に重点を置いて-
4	理 科	10	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験等に関する基本的な技術を身に付けるための指導の工夫-
5	音 楽	4	幅広い音楽活動を通して、「音楽的な見方・考え方」と働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫-
6	美 術	2	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 -美術科で育成することを目指す資質・能力の三つの柱の実現に向けて-

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
7	保健体育	11	心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じ運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。 (保健分野) 自らの健康を管理し、改善しようとする実践力を育てるための指導過程はどうあればよいか。
8	技 術	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習活動の工夫-
9	家 庭	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習の工夫-
10	英 語	14	コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。 -3年間の見直しをもって、4技能をバランスよく指導するための工夫-
11	道 徳	7 (重複)	主として自分自身に関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳の授業はどうあればよいか。 -評価との一体化を意識した指導-
12	特別活動	7 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 -生徒が主体的に参加し、合意形成や意思決定を目指す話し合い活動を通して-
13	特別支援	7 (重複)	特別な支援を必要とする生徒の個性や能力を伸ばし、自立と社会参加を推進するための指導はどうあればよいか。 -自己有用感を高められるような場の設定・工夫-
14	保 健	4	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 -生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫-

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	総 会 教科・領域部会	上 市 中 学 校	事業・予算、役員選出 研究主題、年間計画立案
5	教科・領域部会	各 一 会 場 中 止	主題解明のための研究協議(授業研究)
8	教科・領域部会	各 会 場	主題解明のための研究協議
9	教科・領域部会	各 会 場	研究大会の事前研究等(授業研究)
10	第64回研究大会	各 会 場	研究成果の発表、研究協議
1	全 体 会 教科・領域部会	上 市 中 学 校	本年度のまとめと反省 研究集録について、新年度の計画
3	研究集録の発刊		

4 留意事項

- (1) 県教委の「幼・小・中学校指導の重点」を活用する。
- (2) 共同研究の課題については、個人研究を生かすように配慮し、組織的な研究を推進する。
- (3) 県中教研の課題を踏まえ、実践研究を進める。
- (4) 研究諸団体、諸機関との連携を密接にし、研究を深める。